



**(第3期)**

# 林業躍進プロジェクト

**[令和8年度～12年度]**



**愛媛県  
令和8年3月**



媛すぎ

媛ひのき

# 林業躍進プロジェクト（第3期）について



## 1. 林業躍進プロジェクト策定の経緯

- 林業躍進プロジェクトは、県内の森林資源が充実する中、主伐を計画的・段階的に導入し、県産材を増産することで、加工・流通の効率化や事業への新規参入・規模拡大を促進するとともに、森林資源の循環利用を通じて関連産業の競争力強化と雇用の創出を図り、林業を地域の成長産業として育成するため、平成26年度から取り組み始めました。
- 第2期（平成31～令和7年度）の成果を踏まえ、県内での木材需要の拡大など、本県林業を取り巻く情勢の変化に対応し、生産性の向上による県産材の増産と新たな木材需要の拡大を目指すとともに、確実な再生林の実行による森林の若返りと健全な森林づくりに取り組むこととしています。

## 2. 林業躍進プロジェクトの位置付け（下記参照）

- 林業躍進プロジェクトは、えひめ農林水産業振興プラン2026（令和8年3月策定）に掲げる県林業の施策目標（KGI）達成に向けて、県が重点的に取り組む施策について示す実行プログラム計画と位置づけています。

### 政策体系図

#### 愛媛県木材の供給及び利用に関する条例

（平成30年条例第56号）

基本計画

#### 愛媛県総合計画

～未来につなぐえひめチャレンジプラン～  
（令和5～8年度）  
⇒政策・施策KGI

具体計画

#### えひめ農林水産業振興プラン2026

（令和8年3月策定）

- 計画期間：令和8～12年度（5か年間）
- 基本方向：取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、将来にわたり安心して生産活動が継続できる農林水産業の実現
- 目標：林業・木材産業産出額 580億円/年（令和12年度）  
⇒（施策KGI）17 農林水産業の生産振興：林業・木材産出額

実行プログラム

#### 林業躍進プロジェクト（第3期）

（令和8年3月策定）

- 計画期間：令和8～12年度（5か年間）
- 基本方向：担い手の待遇改善、生産性と収益性の確保、県産材の価値の向上
- 目標：県産材生産量 700千m<sup>3</sup>/年（令和12年度）※1  
森林更新面積 630ha/年（ " ）※2  
⇒（施策KGI）17-6 林業の生産振興：県産材生産量

※1 県産材生産量 素材（原木）生産量に、チップやペレットで利用されたエネルギー利用量を加算したもの

※2 森林更新面積 伐採跡地に植林（再生林）や天然更新等により森林の更新が図られた面積

### 3. 林業躍進プロジェクト（第3期）の推進方針

## 林業躍進プロジェクト推進方針

### 林業躍進プロジェクト【第3期】（令和8年3月策定）

○計画期間 令和8～12年度（5年間）

○主要目標

**KGI** 県産材生産量 700千m<sup>3</sup>/年（令和12年度）  
森林更新面積 630 ha /年（ " " ）

【重点課題】

- 担い手の確保
- 生産性と収益を確保する主伐・再造林の推進
- 持続可能な生産・流通・需要の確保

### 基本方向

ボトルネックの解消

<川上～川中>

### 担い手の待遇改善

森林組合、林業事業者、原木市場

- 拡** 木材生産能力を高め、持続的な林業経営と担い手の待遇改善が可能な事業者の育成強化
- 新** スマート林業技術等の導入による機械化・自動化と労働安全衛生の向上
- 拡** スマート林業技術等を活かせる高度な技能者の確保と育成

<川上～川中>

### 生産性と収益性の確保

森林組合、林業事業者、原木市場、製材・木材事業者等

- 拡** 主伐への移行による生産性と収益性の向上
- 新** 再造林・保育に必要な労働力の確保と省力化
- 新** ゾーニングによる適材適所の労務配分や施業効率化によるコストダウン

<川中～川下>

### 県産材の価値の向上

県森連、原木市場、製材・木材事業者、民間企業等

- 拡** 県産材の国内外への販路拡大
- 新** 増加する大径材も含めた流通機能の見直し
- 新** 原木価格を高めるため、需要に応じた価格競争力のある市場機能の強化

目指すべき姿

持続可能な循環型産業の確立  
林業の成長産業化

林業の担い手を確保するため、就労環境の改善や機械化による効率化を進め、持続可能な林業経営と儲かる林業事業体を育成し、担い手の賃金上昇などの待遇改善を図ります。

## 現状と課題

- 林業就業者は5年間で2割減少しており、特に再造林・保育部門での不足が顕著
- 高性能林業機械の導入は進んだが、主伐に適した架線系機械の普及や大径材に対応した機械の大型化が課題
- 他産業と比較して労働強度が高く厳しい作業環境にも関わらず、給与水準が低く新規就業者の確保が困難な状況

## [課題] 担い手の確保

## 取組内容

### ①木材生産能力を高め、持続的な林業経営と担い手の待遇改善が可能な事業体の育成を強化

#### 【施策】

- ・労働負荷の高い再造林や育林等を担う事業者の労働環境の改善への支援拡充
- ・新規就業者を確保するための就業相談会や体験研修の開催、ホームページやSNSを活用した情報発信
- ・外国人材等多様な林業担い手確保のための事業者向けセミナーの開催
- ・主伐を推進するため、作業システムの改良、集積場所の確保など、地域で連携して先行的に取り組む事業者を支援

### ②スマート林業技術等の導入による機械化・自動化と労働安全衛生の向上

#### 【施策】

- ・再造林・保育作業における労働負荷の軽減に向けた自動化技術の導入の実証
- ・労働強度の低減・省力化や労働安全の確保に資する先進的な林業機械の導入や主伐に適した大型機械の導入支援
- ・新たな架線系作業機械システムの導入や、架線系作業技術の継承と効率化を促進
- ・林業従事者の労働安全衛生装備の充実、技術及び技能の向上、福利厚生の実装への支援
- ・担い手不足を補うGIS等スマート機器の現場への実装を支援

### ③スマート林業技術等を活かせる高度な技術者の育成

#### 【施策】

- ・森林整備の中核的な担い手となる林業技術者や作業管理者等の高度な技術者を育成し、技術力の能力評価により、社会的・経済的な地位の向上を図る
- ・労働安全衛生に関する高度な指導者を育成し、労働災害の減少を図る
- ・デジタル技術やICT機器を活用した森林資源の調査・管理・解析が可能な次世代を担う人材育成

■ ドローンによる苗木運搬



■ 高性能林業機械（ハーベスタ）



■ 架線による集材作業



労働人口が減少する中、生産性の高い施業へ転換を図り、収益を確保できる事業体を育成するため、主伐・再造林による森林資源の循環利用と施業の低コスト化を進め、生産機能の高く立地条件の良い森林への集中投資によって、生産性と収益性を確保します。

## 現状と課題

- 大型製材工場でのCLT生産が本格稼働するなど原木需要が増加
- 高齢級化によって間伐対象森林の大幅な減少が見込まれる中、主伐面積は伸び悩んでいる
- 人力作業が中心で労働負荷が高い再造林・育林作業では、省力化や労働力の確保が課題
- 施業地が分散化しており、施業の効率化が進んでいない

## 〔課題〕 生産性と収益性を確保する主伐・再造林の推進

## 取組内容

### ④主伐への移行による生産性と収益性の向上

- 【施策】
- ・生産性を向上するため素材生産を搬出間伐から主伐への移行を加速、7,030haの森林整備を目標に森林の若返りを推進
  - ・社会問題となっている花粉症対策として、主伐による人工林の伐採と花粉の少ない品種への植え替えを支援
  - ・主伐に向かない箇所は森林吸収系クレジットの創出等により新たな価値を生み出すなど、山側の収益還元につなげる

### ⑤再造林・保育に必要な労働力の確保と省力化

- 【施策】
- ・主伐への移行の妨げとなっている、再造林等の労働力不足解消のため、新たに育林作業に取り組む者へのスタートアップを支援
  - ・成長の早いエリートツリーを活用し、下刈り回数の削減や植栽本数の低減による省力化を実証
  - ・二ホンジカによる食害被害の低減が期待できる苗長の高い苗木（大苗）の効果の実証
  - ・伐採事業者による機械地拵えを推進することで再造林に係る労働強度を低減
  - ・低コスト再造林に資するコンテナ苗の生産支援、ドローンを活用した人工播種による森林造成の実証等、早生樹の活用など造林・育林コスト低減に向けた実証

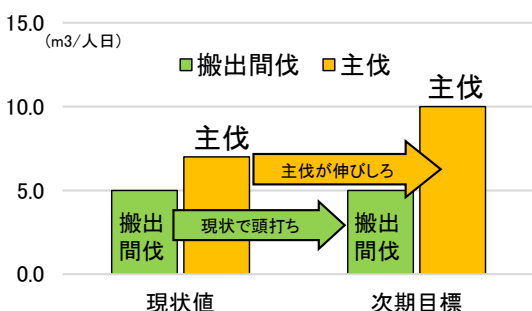
### ⑥ゾーニングによる立地条件に応じた労務配分や施業効率化によるコストダウン

- 【施策】
- ・人工林を機能と立地の観点から分類し、生産機能が高く、条件が整っているエリアの森林整備を重点的に実施
  - ・施業の集約化による効率的な路網整備と機械化を通じたコストダウン
  - ・獣害の激甚被害地や条件不利地における自然力を活かした森林の更新手法の検討
  - ・森林情報データの一元化や活用的高度化による森林管理の効率化

■主伐への移行による生産性改善

■高性能林業機械による省力化

■土場での木材搬出作業



再生産性の可能な木材価格を実現し、持続可能な循環型産業を確立するため、県産材の販路拡大と利用拡大により新たな木材需要の確保に努めるほか、市場機能や流通の合理化や効率化を進め、木材から得られる収益の拡大と県産材の価値の向上を目指します。

## 現状と課題

- ウッドショック以降原木価格は下落、生産・流通コストの増により山側の収益は減少
- 人口減少等で縮小する住宅需要を補うため、外材から国産材への転換を進めるほか、非住宅分野への木材利用拡大や国内・海外市場への販路拡大が必要
- 原木の大径化に伴い、生産現場や原木市場、製材施設での対応が遅れている

## 〔課題〕 持続可能な生産・流通・需要の確保

## 取組内容

### ⑦ 県産材の国内外への販路拡大

#### 【施策】

- ・ 愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」を核とし、434千㎡の製品出荷を目標として県産材の国内外への販路を拡大
- ・ 国内大消費地に向けた販路開拓や県産材を使用した新商品開発への支援
- ・ 海外のターゲット国等のニーズに応じ、ヒノキ材を主体とした高付加価値商品や木造住宅等の海外販売戦略を強化
- ・ 非住宅分野における、県産材を活用した木造化や木質化を推進

### ⑧ 増加する大径材も含めた流通機能の見直し

#### 【施策】

- ・ 大径材を安全かつ効率的に生産・資源循環できるシステムを構築するため、林内路網の幅幅や主伐・再造林に係る作業システムや機械の改良によるコストダウンへの支援
- ・ 大径材に対応した集積場所の確保やサプライチェーン構築のための生産管理に要する機材の導入など、先行的に取り組む事業者を総合的に支援
- ・ 市場のニーズに応じた多様な建築用材の直送等による原木流通システムの構築や、集積・保管・仕分け場所（山土場や中間土場など）の確保や整備への支援
- ・ 地域の課題解決を図るため、民間事業者等の自由な発想と活力を最大限に引き出し、地域で関係者が連携して行う合理化や効率化等に資する、官民共創による取組みに対する支援

### ⑨ 原木価格を高めるため、需要に応じた価格競争力のある市場機能の強化

#### 【施策】

- ・ 川上から川下に至る総合対策に必要な木材加工流通施設等の導入への支援
- ・ 山側と市場が連携し、生産現場と需要の情報を共有化し、サプライチェーン全体で利益を最大化させる仕組みの創出
- ・ 更なる需要の増加が見込まれる木質バイオマスの利用促進のため、林地残材等の資源化を促進

#### ■ 県産材流通の改善イメージ



#### ■ 原木市場から出荷される原木



#### ■ 新たな木材利用の拡大

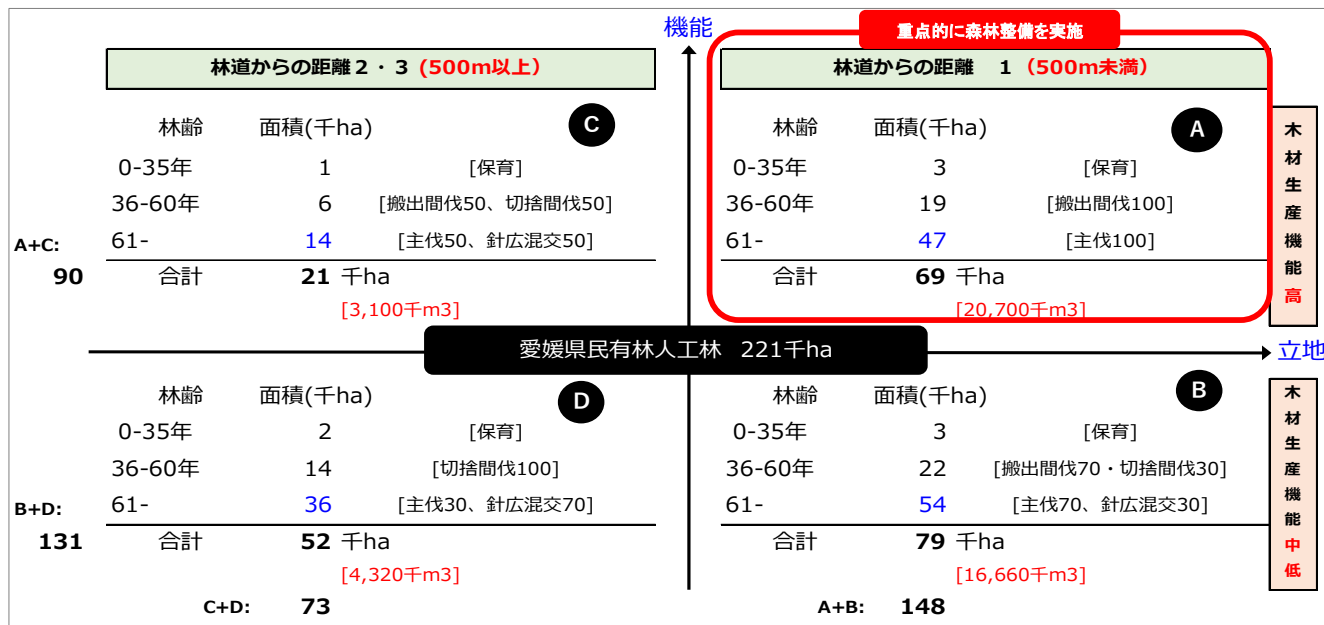


# 4. 本プロジェクトの進め方について

## 立地条件の良い森林への集中投資

第3期の林業躍進プロジェクトでは、本県の民有林人工林22万haのうち、木材生産機能の高い効率的な施業に適した約6万9千haを経営林として位置づけ、集中的に投資を図ることで、集約的な低コスト林業を推進し、林業・木材産業の活性化を図ります。

一方、生産に向かない地域は水土保全や防災など、森林が持つ公益的な機能を保つため保全を図り、育成複層林や針広混交林に誘導することにより、森林の持つ機能の強化に努めます。



## 基本方向と役割分担

ボトルネックの解消に向け、各業界・団体の役割分担を次のように定め、県内関係者が一丸となって取り組みます。

### ① 担い手の確保

県森連、森林組合、民間事業者、木材協会

#### ● 事業者の生産能力強化と担い手の待遇改善

- 他産業並の賃金水準、週休2日制の導入等
- 持続可能な林業経営に必要な収益の確保

#### ● 機械化とスマート林業技術の導入による省力化と労働安全衛生の向上

- スマート林業技術の現場への導入 (ドローン、GNSS、フォレストトラック等)
- 保育作業省力化技術の導入 (機械下刈り等)
- 機械化による労働強度の軽減
- スマート林業技術等の高度技術者の確保

### ② 生産性と収益性を確保する主伐・再造林の推進

県森連、森林組合、県苗組、民間事業者

#### ● 主伐による生産性と収益性の向上

- 間伐から主伐へ移行 (搬出間伐の比率は現状より30%減少)

#### ● 再造林・保育に必要な労働力の確保と省力化

- 外国人材の活用、確保・育成を促進

#### ● 適材適所の労務配分とコストダウン

- 低コスト再造林に必要な苗木供給能力の拡大
- 低コスト再造林技術の導入 (機械地拵え、エリートツリー、低密度植栽など)

### ③ 持続可能な生産・流通・需要の確保

県森連、森林組合、民間事業者

#### ● 原木価格を高めるため、価格競争力のある市場機能の強化

#### ● 将来的な大径材増加を見越した流通機能の見直し

- 買取林産の強化による集荷能力向上 (市場機能の強化、安定した供給の確保)

木材協会、民間企業

#### ● 県産材の国内外への販路拡大

- 多様なニーズに応じた製品供給体制整備 (inch材、2X4、CLT等)
- 市場開拓の連携強化 (民間・非住宅)
- JAS材の普及

市町 環境譲与税を活用したきめ細やかな支援

県 プロジェクトの実行、普及指導や連携強化により生産能力の強化・改善を支援

- 再造林・保育等に係る担い手の確保
- 多様な林業技術者の育成

- 低コスト再造林の推進
- 生産能力の改善に資する各種支援

- 生産・流通・需要に係るイノベーション
- 国内外への販路拡大と木材利用の推進

連携

基本方向

基本方向

基本方向

担い手の待遇改善

生産性と収益性の確保

県産材の価値の向上